

乗用機械の巻き取り展開アタッチメント利用で 傾斜地茶園の労働負荷が半減

(農林センター)

主 旨

茶園の直がけ被覆に伴う作業を軽労化するため、乗用型機械に装着する傾斜地茶園対応のアタッチメントを開発



展開アタッチメント



巻き取りアタッチメント



慣行の手作業による巻き取り

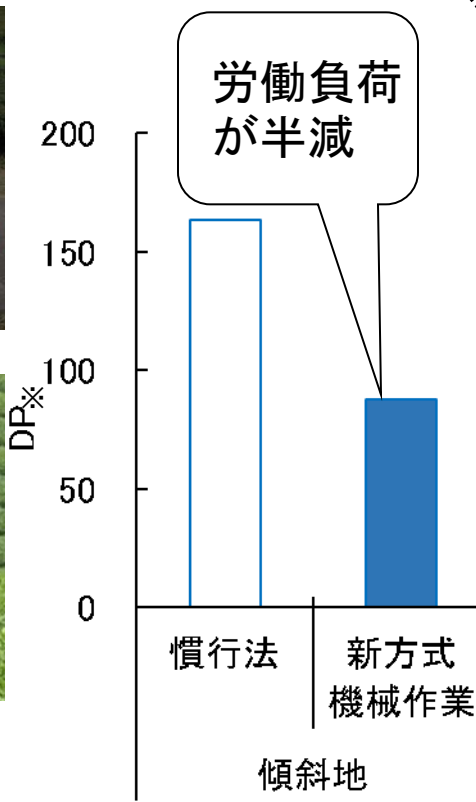


新方式機械作業による巻き取り



巻き取り同時摘採作業の様子

(乗用型機械前部に巻き取りアタッチメント、後部に摘採アタッチメントを装着)



例 巻き取り作業時の労働負荷評価 (オペレーター)

※DP(ダブルプロダクト)=(最高血圧×心拍数)/100
心筋の酸素消費量と比例関係があり、激しい運動をした場合に、その値は高くなる。

具体的な研究成果

傾斜地において開発したアタッチメントを用いることにより、労働負荷が展開時には24%削減、巻き取り時には47%削減、巻き取り同時摘採時には50%削減。また、作業時間が8~28%削減

研究成果の活用場面、波及効果等

- 傾斜地茶園対応のアタッチメントは今秋から販売され、乗用型機械への装着が普及することで直がけ被覆の省力化が進みます。
- てん茶、かぶせ茶等の単価向上と規模拡大に寄与し、農家の経営安定につながります。